

番号-所属	番号-通番	事業名	担当課名
240010	1	移住・定住情報発信事業	総合政策課
240012	1	SDGs推進	未来創造研究室
240015	1	中核市市長会負担金	政策調整課
240015	2	岐阜地域広域圏協議会負担金	政策調整課
240050	1	岐阜市統計協会補助金	統計分析課
240060	1	岐阜薬科大学キャンパス整備事業	岐阜薬科大学キャンパス 整備推進課

【1.基本情報】

事業名	移住・定住情報発信事業									
担当部名	企画部					担当課名	総合政策課			
実施方法	委託(民間)		補助等の種類				実施主体	岐阜市		
開始・終了年度	令和	3	年度～			年度	根拠法令・関連計画	—		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		テレワークの普及等により地方移住への関心が高まる中、商業施設内に設置したブースにて、市の施策や暮らしの魅力をPRし、本市への移住・定住を促進する。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		カラフルタウン1Fに設置したブースにて、移住者の暮らしぶりを紹介する記事や岐阜市の魅力を伝える写真を展示し、定期的にイベント等を開催するとともに、Webによる情報発信をする。								
事業の対象	何を	岐阜市での暮らしの魅力についての情報								
	誰に	カラフルタウン岐阜の来場者及びWeb閲覧者								
	どのくらい	月1回程度の展示物、Webの更新								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		本市及び周辺市町に潜在する地域の暮らし方の魅力を、市内外のローカルキーマンの視点で発掘し編集。ローカルキーマンのSNS等の発信力とココカラ及びココカラWEBなどを組み合わせ、主に大都市圏の若者世代への効果的な情報発信を行った。								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	95	3	64	2	66	2
パートタイム会計年度任用職員A	10	1	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	106	4	64	2	66	2

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	6,263	6,611	6,668
決算額(C)	6,263	6,054	6,559
差額(B-C)	0	557	109
執行率(C/B)	100%	92%	98%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	6,369	6,118	6,625

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	3,131	3,006	2,684
決算額(F)	3,131	3,006	2,679
差額(E-F)	0	0	5
執行率(F/E)	100%	100%	100%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(DーF)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	3,238	3,112	3,946

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	38 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
岐阜市の人口が40万人を割り込み、2050年には約325,000人になると推計される中、持続可能で選ばれるまちとなっていくためには、岐阜市での暮らしの魅力を継続的に発信していく必要がある。今後も「ココカラ」ブースの展示内容や「ココカラWEB」の掲載情報を充実させ、効果的に発信することより、本市への移住・定住につなげていく。							

【1.基本情報】

事業名	SDGs推進									
担当部名	企画部					担当課名	未来創造研究室			
実施方法	補助等			補助等の種類		その他補助金	実施主体	岐阜市		
開始・終了年度	令和	6	年度～			年度	根拠法令・関連計画	持続可能な開発のための2030アジェンダ・岐阜市未来創生総合戦略		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		地方が将来にわたって成長力を確保するには、人々が安心して暮らせるような「持続可能なまちづくり」に、みんなで取り組む必要がある。こうした中、地方創生SDGsの推進は、経済・社会・環境の三側面における統合的な課題解決を図り、暮らしの基盤の維持・再生につながる取組である。地方創生SDGsの一層の推進に向け、岐阜県の登録制度と連携し、市内企業・団体等のSDGsの取組を「見える化」するとともに、岐阜市独自の支援を充実させることにより地域の活性化を図り、官民連携によるシビックプライドとWell-beingに満ちた持続可能なまちづくりを推進する。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		・岐阜市地方創生SDGs金融推進チームの運営、官民連携による食とWell-beingの推進イベントの開催 ・庁内推進体制の強化 ・SDGsの行動につなげる取組								
事業の対象	何を	ワークショップの開催、食とWell-being推進イベント開催、職場推進員研修の実施、出前講座等の実施								
	誰に	市民、市内事業者								
	どのくらい	年間を通して実施								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		—								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	8,554	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	8,554	260

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	0	0	1,313
決算額(C)	0	0	1,213
差額(B-C)	0	0	100
執行率(C/B)	—	—	92%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	0	0	9,767

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	561
決算額(F)	0	0	1,201
差額(E-F)	0	0	-640
執行率(F/E)	—	—	214%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	0	0	8,566

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
					45 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
今後も効果的なSDGsの達成につながる取組を推進するため、ワークショップの開催や研修・出前講座・イベントを実施することは有意義であり、当該事業は非常に重要であることから、継続して実施していく。							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0240015	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	中核市市長会負担金									
担当部名	企画部					担当課名	政策調整課			
実施方法	補助等		補助等の種類		加入団体負担金		実施主体	中核市市長会		
開始・終了年度	平成	8	年度～			年度	根拠法令・関連計画	—		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		中核市市長会を通じて、地方分権改革を推進し、実現する。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		国が進めようとしている地方分権改革を推進し、地域の自主性と自立性を高めるため、中核市市長会を通じて行う国に対する様々な要望、政策提言に向けた研究を進めるとともに、加盟市として負担金を支出する。								
事業の 対象	何を	負担金								
	誰に	中核市市長会								
	どのくらい	500千円								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		特になし								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	500	500	500
決算額(C)	500	500	500
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	532	532	533

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	－	－	－

【5.収支(インプット)】

市負担額一般 財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	532	532	533

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	33 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
地域の中核を担う中核市として、国に対する様々な要望、政策提言に向けた研究を行うため、中核市市長会の加盟市として負担金を支出することは必要。							

【1.基本情報】

事業名	岐阜地域広域圏協議会負担金									
担当部名	企画部				担当課名		政策調整課			
実施方法	補助等		補助等の種類		加入団体負担金		実施主体	岐阜地域広域圏協議会		
開始・終了年度	平成	22	年度～			年度	根拠法令・関連計画	—		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		岐阜圏域6市3町(岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、岐南町、笠松町及び北方町)において、様々な行政課題に対して対応するため、広域連携を深めていく。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		岐阜圏域6市3町の連携強化を図るため、首長同士の意見交換などを実施している岐阜地域広域圏協議会に対して、加盟市として負担金を支出する。								
事業の 対象	何を	負担金								
	誰に	岐阜地域広域圏協議会								
	どのくらい	157千円								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		年度を通じた協議テーマを設定し、具体的な施策等のアウトプットを行うよう、協議会の実施スキームの見直しを図った。また、負担金を減額(244千円→157千円)した。								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	32	1	33	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	32	1	32	1	33	1

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	70	244	157
決算額(C)	70	244	157
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	102	276	190

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	－	－	－

【5.収支(インプット)】

市負担額一般財源(DーF)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	102	276	190

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	37 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
広域連携に関しては、岐阜連携都市圏(連携中枢都市圏)を形成しているが、多様な連携のチャンネルを保有することは自治体として有意義である。							

【1.基本情報】

事業名	岐阜市統計協会補助金									
担当部名	企画部					担当課名	統計分析課			
実施方法	補助等		補助等の種類		団体育成(運営)補助金		実施主体	岐阜市統計協会		
開始・終了年度	平成	13	年度～			年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則、岐阜市統計協会補助金交付要綱		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		国の基幹統計調査において、統計調査員の統計調査に関する知識、意識の醸成を図り、調査を円滑に実施する。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		全国統計大会への参加、統計功労者感謝状贈呈式及び統計業務講習会の開催、新規登録調査員研修会の開催、協会誌の発行、地区運営会議の実施								
事業 の 対 象	何を	岐阜市統計協会補助金								
	誰に	岐阜市統計協会								
	どのくらい	会議費、研修費、地区運営費、協会誌発行費、事務費、その他市長が認めた経費の合計額の4分の3以内(1年度あたり70万円を限度とし、1,000円未満は切り捨て)								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		統計業務講習会への参加者の拡充								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	64	2	64	2	66	2
パートタイム会計年度任用職員A	30	3	30	3	36	3
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	94	5	95	5	102	5

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	457	484	500
決算額(C)	457	484	500
差額(B-C)	0	0	0
執行率(C/B)	100%	100%	100%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	551	579	602

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	0	0	0
決算額(F)	0	0	0
差額(E-F)	0	0	0
執行率(F/E)	-	-	-

【5.収支(インプット)】

市負担額一般 財源(DーF)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	551	579	602

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
		現状維持		現状維持	29 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
統計調査員の統計調査に関する知識、意識の醸成を図り、調査を円滑に実施するため、当該事業は非常に重要であることから、継続して実施していく							

事業評価シート(令和6年度事業)

番号	0240060	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜薬科大学キャンパス整備事業									
担当部名	企画部					担当課名	岐阜薬科大学キャンパス整備推進課			
実施方法	直営			補助等の種類			実施主体	岐阜市		
開始・終了年度	平成	24	年度～	令和	10	年度	根拠法令・関連計画	岐阜薬科大学キャンパス整備基本計画		

【2.事業概要】

目的(インパクト) (何のためか)		岐阜薬科大学キャンパス整備基本計画に基づき、本部研究室の狭隘化解消、少人数教室の整備、三田洞キャンパスの老朽化等の課題に対応するため、キャンパスを整備・統合する。								
内容(アクティビティ) (手段・手法など)		本部近接地において、用地を取得し、新たなキャンパス整備を行う。								
事業の 対象	何を	新たな学舎棟の建設								
	誰に	岐阜薬科大学学生								
	どのくらい	新学舎 4階建て 延床面積約14,000㎡								
前年度からの改善点 (継続事業の場合)		整備コストが高騰していることから、学舎棟の建設からスタートし、体育館棟及びテニスコートの整備を将来工事とした。								

【3.支出】

(1)職員人件費

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	24,804	780	50,232	1,560	59,878	1,820
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	24,804	780	50,232	1,560	59,878	1,820

(2)事業費

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(B)	31,161	226,212	958,891
決算額(C)	25,138	172,064	934,883
差額(B-C)	6,023	54,148	24,008
執行率(C/B)	81%	76%	97%

(3)総コスト

総事業費(D)=A+C	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	49,942	222,296	994,761

【4.収入】

	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
予算額(E)	2,166	0	667,900
決算額(F)	2,114	120,000	688,795
差額(E-F)	52	-120,000	-20,895
執行率(F/E)	98%	-	103%

【5.収支(インプット)】

市負担額一般 財源(D-F)	令和4年度(千円)	令和5年度(千円)	令和6年度(千円)
	47,828	102,296	305,966

アウトプット評価（活動に基づく産出物（サービス））

アウトカム評価（活動に基づく成果）

【7.観点評価】

【8.総合評価】 (定量評価及び定性評価を踏まえた評価)

総合評価	令和4年度		令和5年度		令和6年度		方向性基準 (基準点を満たすものから選択)
	点数	方向性	点数	方向性	点数	方向性	
					50 50	継続	・40点以上: 拡充 ・25点以上: 継続 ・15点以上: 改善 ・0点以上: 縮小・廃止
新学舎が完成し、供用開始することにより、岐阜薬科大学の抱える課題の一部が解決し、教育・研究活動が充実するほか、岐阜大学と連携した研究機関や関連企業の立地を誘導できることで、ライフサイエンス拠点の形成も期待できることから、当該事業は非常に重要であり、継続して実施していく。							